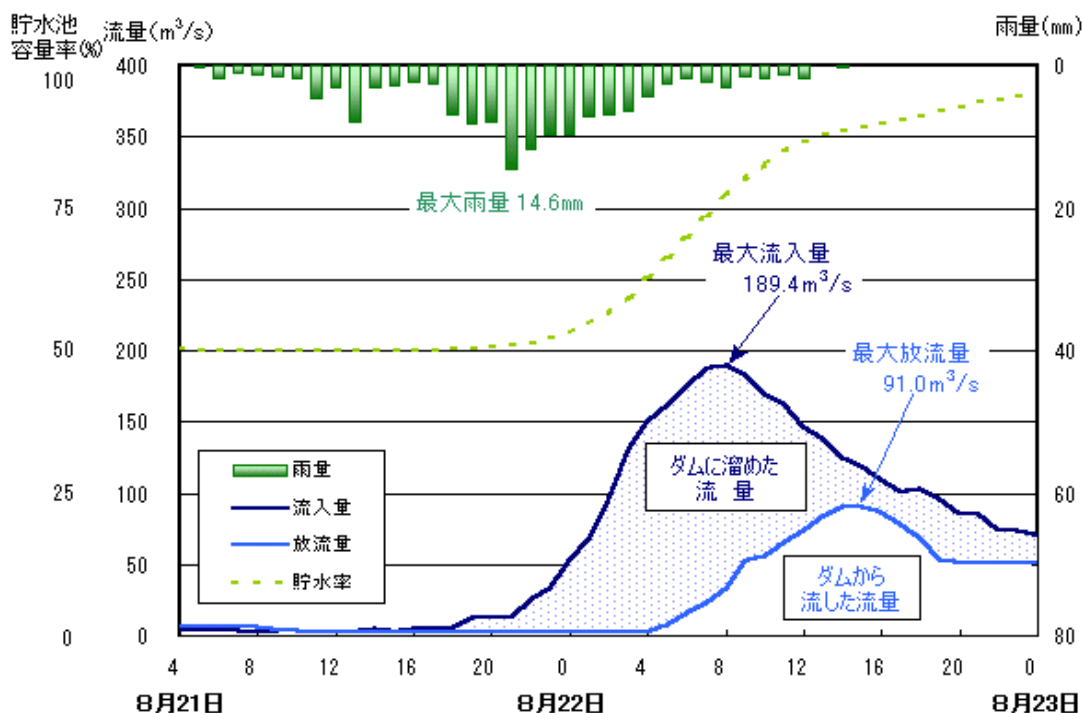


# 日吉ダムの洪水調節(台風11号)と濁水解消について

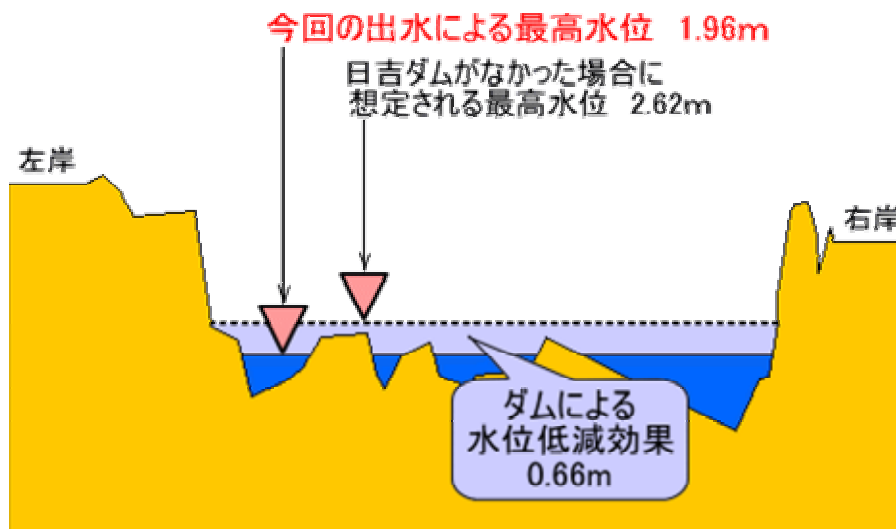
● 洪水軽減に効果を発揮し、併せてダムの貯水位も回復 ●

8月21日午後7時過ぎに上陸した**台風11号**は、近畿地方を含む広い範囲に大雨をもたらしました。日吉ダム上流域でも、21日午前4時から22日午後9時にかけて、流域平均で1時間あたり**最大約15mm**を記録し、総雨量は**約140mm**に達しました。

この降雨による出水に対し、日吉ダムは空き容量を利用してダムに流入してくる洪水(最大流入量:毎秒**約190m<sup>3</sup>/s**)の大部分を貯留しました。これにより、ダムがなかった場合に推定される亀岡地点の最高水位**2.62m**(指定水位2.5m)を実績



日吉ダムでは、7月・8月の少雨傾向に伴い、下流の河川環境の保全、水道用水・農業用水の安定取水など、ダムから必要な水量を補給してきました。その結果、21日には貯水量が**約8,000,000m<sup>3</sup>**(夏場の利水容量の**約50%**)まで低下していましたが、今回の雨により貯水率は23日0時現在で**約95%**まで回復しており、**濁水の解消につながりました**。



日吉ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダムの効果発現に努めてまいります。